

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2005-348970(P2005-348970A)

【公開日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-050

【出願番号】特願2004-173132(P2004-173132)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 E

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月11日(2006.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者による操作の結果に基づいて、単位遊技の開始を指令する遊技開始指令手段と、前記遊技開始指令手段からの遊技開始指令信号に基づいて、当選役を決定する当選役決定手段と、

入賞態様を入賞表示手段に停止表示させる入賞表示制御手段と、

前記当選役が特定の役であることにに基づいて、前記入賞表示制御手段により前記入賞表示手段に特定の入賞態様が停止表示された場合に、遊技者に有利な有利状態を発生させる有利状態発生手段と、

前記入賞表示制御手段が前記特定の入賞態様を停止表示させることができ可能な確率が第1の確率である第1確率状態を継続させる単位遊技の回数を決定するための決定情報として、決定される単位遊技の回数の期待値が第1の値である第1決定情報と、決定される単位遊技の回数の期待値が第1の値よりも小さい第2の値である第2決定情報とを格納する情報格納手段と、

前記当選役決定手段が複数の所定の役のうちのいずれかを当選役と決定したことを契機として、前記第1確率状態を継続させる単位遊技の回数の決定のために前記第2決定情報を続けて用いる回数を前記所定の役の種別に基づいて決定する連続回数決定手段と、

前記連続回数決定手段の決定結果に応じて前記第1決定情報又は前記第2決定情報を選択し、選択した決定情報に基づいて、前記有利状態が終了した後において前記第1確率状態を継続させる単位遊技の回数を決定する継続回数決定手段と、

前記第1確率状態が継続する単位遊技の回数を計数する回数計数手段と、

前記継続回数決定手段の決定結果と、前記回数計数手段により計数された回数に基づいて、前記第1確率状態から、前記入賞表示制御手段が前記特定の入賞態様を停止表示させることができ可能な確率が前記第1の確率よりも高い第2の確率である第2確率状態に確率状態を移行させる状態移行手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。